



村章

なまじん

報

1989年

3月

No. 160

毎月1日発行



古宇利小の子どもたちに囲まれて左から玉城校長、造酒総合事務局長、上間村長、塚越事務次官、県の川井技監

塚越事務次官が古宇利島を視察

——古宇利架橋の早期実現を要請——

二月十五日、沖縄開発庁の塚越事務次官が古宇利島を訪れました。村からは上間村長をはじめ助役、収入役、教育長、各課長が同行、港湾、漁港、道路など島の実情を視察されました。

古宇利丸から降り立った事務次官一行を島の人が総出で迎え、村民を代表して上間村長が歓迎と古宇利架橋の早期実現を求めてあいさつ。また古宇利小中学校の玉城健司生徒会長も「ぼくたちの望みは、島に橋が架けられることです」と事務次官のお力添えを要望しました。

これに対し、塚越事務次官は、「皆さんの期待に応えるように技術的なことや橋のルート、財政的な面を含めて勉強していきたい」と前向きに答え、離島苦解消に理解をみせました。

同次官は古宇利島のほか今帰仁城跡、呉我山トンネル、運天森なども視察されました。

今帰仁村の人口

平成元年1月31日現在

世帯数

3,020(+12)

男	女
4,863	4,897
(+22)	(+18)



人口 9,760人(+40)



▲歓迎会で全員が安望屋ユンタを踊る



▲琉舞を披露する
金城メリーさん



歓迎のあいさつをする
上間博 安村長

村内を視察する村長と、リゾート大学酒田村の職員とが、またあんなにうれしうれしい！



▲舞台上に全員集合



▲今帰仁城跡からの発掘された遺物を見学



▲与那嶺長浜で貝ひろいに熱中する皆さん
▼仲原馬場について山内先生の説明を聴く



恒例になっている「リゾート大学沖縄酒田村」が今年も開設され、雪深い山形県から池田勲 団長（酒田市新堀公民館長）一行五十四名が二月二日に本村を訪れた。
一行は、三日に馬場や城跡、嵐山、運天港など村内を視察観光し、運天森で記念植樹、夕方には仲宗根老人クラブとゲートボールの交流で親睦を深めた。
夜は村コミュニティセンターで歓迎会が行われ、上間博安村長は、酒田市との交流を高く評価するとともに、「温かく、緑



▲今帰仁城跡を訪れる御一行



▲仲宗根老人クラブとのゲートボール交流
▼歓迎会終了後花飾りのアーチでお送りする



豊かで美しい今帰仁村を心ゆくまで楽しんで下さい」と歓迎のあいさつ。池田団長は「心温まる歓迎に感謝しています。これからも長いおつきあいをお願いします。」と述べた。
歓迎会も今年で十二回目を迎え、村内からも関係者ら多数が出席、琉球音楽や舞踊、字今泊の伝統芸能（棒術）を鑑賞しながら心ゆくまで和やかな雰囲気でお交際を深めた。また五日には山内昌藤氏を講師に、沖縄の文化や行事等について学び、午後に伊江島へと向かった。
長い交流をより発展させるた

め、村内の児童生徒には冬に酒田の生活、文化を、酒田の青年には夏の沖縄を体験させようとの提案がされ、実現にむけて検討されることになっている。「リゾート大学沖縄酒田村」の皆さん私たちの沖縄はいかがでしたでしょうか。

進む生活・産業の盤整備

（一）は請負額及び請負業者



▲湧川線道路改良工事

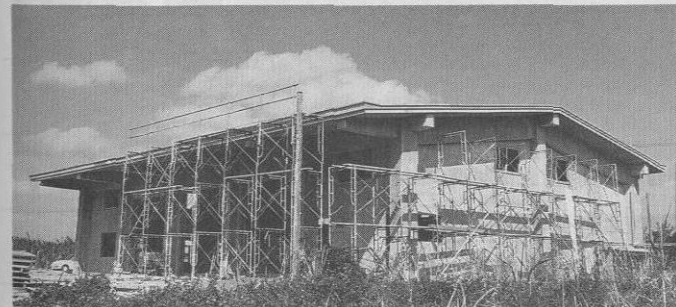
▼林業振興特別対策事業（乙羽岳林間広場）



▼花き集出荷場



▼天底地区土地改良



- ① 古宇利農道工事
五百七十二メートル
（八千万円・(有)武国建設）
- ② 崎山集落道工事
五百五十四メートル
（五千五百万円・島政建設）
- ③ 富原林道開設工事
千三十六メートル
（四千七百五十万円・(有)孝夫組）
- ④ 運天漁港北防波堤工事
百四十二・五メートル
（七千六百万円(有)武国建設）
- ⑤ 諸志地区簡易水道施設整備工事
配管一五九九メートル
（九千七百万円・島政建設）
- ⑥ 湧川線道路改良工事Ⅰ工区
四百六十メートル
（四千七百万円・嘉陽組）
- ⑦ 村営住宅与那嶺団地新築建設工事（三棟・六世帯）
（四千五百万円・喜屋武建設）
- ⑧ 花き集出荷施設新築工事
鉄筋コンクリート四百平方メートル
（三千九百万円・新城組）
- ⑨ 平敷真良地線道路改良工事
五百七十七メートル
（四千七百万円・(有)孝夫組）
- ⑩ 渡喜仁集落排水路工事
千五百四メートル
（二千九百五十万円・渡久山土木）

北島角子さんが講演と一人芝居

社会教育学級合同閉講式に五百

共に学習した仲間が一堂に会し、それぞれの学級で学び実践したことを話し合い、交流を深めることにより今後の学級の充実発展を図ろうとの目的で村教育委員会主催の「社会教育学級合同閉講式」が一月二十六日午後二時から村コミュニティセンターで開かれた。閉講式には学級生を含めて村民五百人余が参加し盛大に行われた。



講演をする北島さん

がそれぞれ学級の感想や意見を述べた。このあと、「沖繩人のやさしさ」と題し、北島角子氏を講師に招いた講演会と一人芝居「針突（ハチチ）」が講演され、ウチナーグチを織り混ぜた巧みな話術で聴衆をひきつけ、熱心に耳を傾けさせた。

北島氏は講演の中で「沖繩の古い風習、習慣は昔の人たちの生活を通して今に伝えられている。これらが脈々と伝わっているのは沖繩の文化がすばらしく、しかも沖繩の人には、やさしい心」が備わっていたからだ。ところが今に生きる私たち若者が心のやさしさを失い、迷信だから、古いものはダメなどと言っただけで、古くは美しい伝統や文化はその時点で失われることになると強調した。また、自分の娘の教育の体験

▼500人余の観衆は北島さんの熱演に引き込まれる…



を通して子育てについても話し、「子どもをしっかりとばすことはよくない。親が心にゆとりをもつて子どもと同レベルで相談したり、対話を深めることで親子の信頼関係が保たれ、親子断絶などということは起こりえない」と家庭教育の大切さを説き、詰めかけた聴衆に感銘を与えた。さらに今の世の中、とかく、自分さえよければ」との風潮がはびこっている。ウチナンチュの人情、やさしさでこのような傾向をふきとばし地域社会全体の

役場人事異動

責任で子どもたちを伸びのび育成していくことを忘れてはならないことも説き、北島さんのすばらしい講演に会場の聴衆もわれんばかりの拍手で応えていた。この日は、フォーシスターズ

の民謡、北島氏の一人芝居に大満足の参加者たちは「長生ヤスーヌムンヤサーノ」と心に余韻を残しての家路となり、改めて社会教育活動の大切さを考えさせられた日となった。

村役場では、一月三十一日付の職員（一人）の退職に伴い、二月一日付で人事異動を実施するとともに、職員一人の採用を行いました。

退職したのは、前任民課長の西島光男さん（在職年数三十二年二月・停年退職・住所一仲尾次七〇〇）。



前任民課長の西島光男さん

長い間大変ご苦労さまでした。新しく採用されたのは、大城みゆき戸籍住民係です。

なお職員の人事異動は次のとおりです。（内は前職）

- ◎ 総務課長 仲里 吉徳（水道課長）
- ◎ 企画財政課長 玉城 啓正（経済課長）
- ◎ 経済課長 渡嘉敷広栄（税務課長）



戸籍住民係 大城みゆき

◎ 税務課固定資産税係長 新里 幸信（昇任・住民課戸籍住民係）

◎ 住民課戸籍住民係 大城みゆき（新採用・二八歳）

- ◎ 水道課長 嘉陽 重芳（厚生課長）
- ◎ 税務課長 島袋 満（企画財政課長）
- ◎ 住民課長 田港 朝茂（教育委員会社会教育課長）
- ◎ 厚生課長 金城 吉信（昇任・給食センター主任）
- ◎ 社会教育課長 新垣 侃（総務課長）
- ◎ 給食センター主任 玉城喜久雄（税務課固定資産税係長）



▶大城さんが養殖しているオニテナガエビ

▲大城菊次郎さんとオニテナガエビの養殖場

復帰前（昭和四十六年）から今泊で養鰻事業を手がけ、度重なる失敗を克服、このほどタイやジャワなどの東南アジア産の雑食性でかつ貧食のオニテナガエビの稚エビの人工ふ化、養殖に成功し、村の特産品にと頑張っている人がいる。その人は大城菊次郎さん（六十八歳・今泊三五三〇番地）。

大城さんは、二十七・八歳の頃、熊本で養殖（鰻）を学び、資金と土地の確保の目途がつき長い間の夢で胸を膨らませて取り組んだ養鰻事業であったが、やっと軌道に乗りかけたたん台風時の

大雨で池一帯が浸水し、手塩にかけて育てた出荷寸前のウナギを一尾のこらず流されるという大被害を被った。その後も細々と養鰻を続けてきたが鰻の稚魚（シラスやクロコ）が採算のとれない高値で安定。養鰻継続の夢が絶たれた。それでも大城さんは、身にしみ込んだ養殖事業への情熱はすてがたく、各地の養殖場を見学したり、養殖関係者からの情報を求めて歩き回った。沖繩県水産改良普及所水産改良普及員の興那嶺盛次氏の指導を受けて名護でオニテナガエビの養殖を手がけていた安次富長生さんから稚エビ五・六万尾を譲り受け、エビ養殖に乗り出した。懸案だった稚エビのふ化、育成の研究を繰り返して、やっと昨年、その技術（30%、40%の海水で飼育、水温27℃、31℃、照度千〜四千ルクスが適当など）を身につけ、自前の稚エビの確保が可能になった。大城さんは現在、約二百坪ほどの池五つに寒さ対策のビニ-



オニテナガエビを人工ふ化・養殖

「新鮮さと味の良さが売りものです」

ルを張り、地下水を吸み上げ十万尾ほどを養殖している。エビは半年ほどの歳月をかけて体長十五から二十センチで出荷。キロ当たり（三十四・五尾）三千五百円で割ぼうやホテルに引き取られている。「新鮮で味もク

おとうさんヤーイ!

刘猛超（日本名・安斉猛一）さんが日本人のお父さんを捜して来日

中国から、刘猛超（日本名・安斉猛一）さんが、日本人のお父さんを捜して来日しています。本籍地が不明のため、全国の方々の協力をお願いしています。

現在七十歳ぐらい 中国滞在時の略歴 支那事変の頃中国に渡る。当時、広州市在の南昌貿易会社に就職する。

昭和十八年（当時二十五歳ぐらい）、陳慧貞と結婚、同年十一月二十一日、刘猛超さんが生れた。

昭和十九年七月頃に日本に帰国、その後、音信不通となる。

今帰仁村の字(村落)の類型と集落区分の呼称

―バーリ・パーイ・クミを中心に―

はじめに

今帰仁村には、十九の字(区・部落・村落・シマ・ムラ)があり、それらの字は様々な視点からとらえることができる。例えば、集落の景観によって塊村であったり、整然とした基盤型の集落、あるいは散村であったりする。また、山や御嶽や畑、それに集落などのセクションによる分類方法もある(今帰仁村総合開発計画基本構想、一九七四年)。ここでは今帰仁村の字(村落)を別の視点から分類してみることとする。字(村落)とは別に、村落内の人の住む家々の集まった地域を集落という言葉で表現することとする。

現在、村落の中の集落地域を区分するのに班や組が使われている。それとは別に、班や組とは異なった範囲を画する伝統的な「……バーリ」や「……パーイ」がある。これらの集落を区分する呼称を手掛かりにして、集落区分の呼称の分布、字(村落)の分類、バーリ・パーイの意味、さらにクミ(組・与)についてふれることにする。



集落区分の呼称の分布

今帰仁村の集落を区分する呼称にバーリ・パーイ・クミがある。現在は各字とも班を用いているが、伝統的なバーリ・パーイ・クミも使われている。また集落が区分される規模にない場合は小地名で呼ばれ、そのいくつかで村落を形成している。バーリの呼称は、今帰仁村の今泊・兼次・諸志・与那嶺・仲尾次などの西側のシマに根強く残っている。謝名もスクミチ(宿道)を境にして南側をウイ

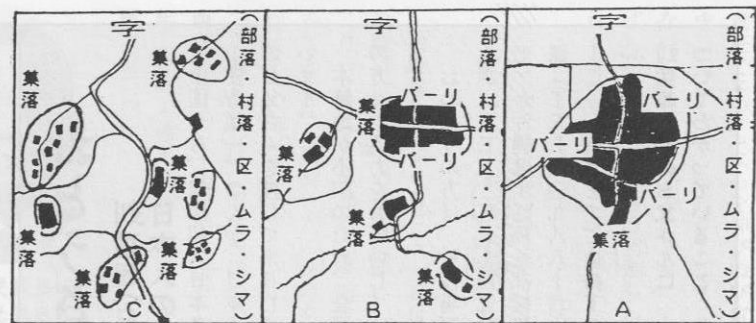
ンバーリ(上のバーリ)、北側をシチャンバーリ(下のバーリ)と区別されていたというが、今ではほとんど聞かれなくなっている。東の運天や上運天にもバーリ(ー)が分布する。古宇利ではパーイが使われ、バーリと同類の言葉とみられる。

バーリは隣接する本部町や旧羽地村にも分布し、今帰仁村のアガリンシマ(東のシマ)では消えかかっているが、かつては村全域に分布していた呼称であったとみられる。

クミの分布は、崎山・平敷・仲宗根・玉城・天底・勢理客などに分布している。クミはバーリやパーイとは異なり、共同体や連帯責任など近世の組(与)の要素の強い言葉であるが、現在崎山では班と同じ区分で使われている。

字(村落)の類型

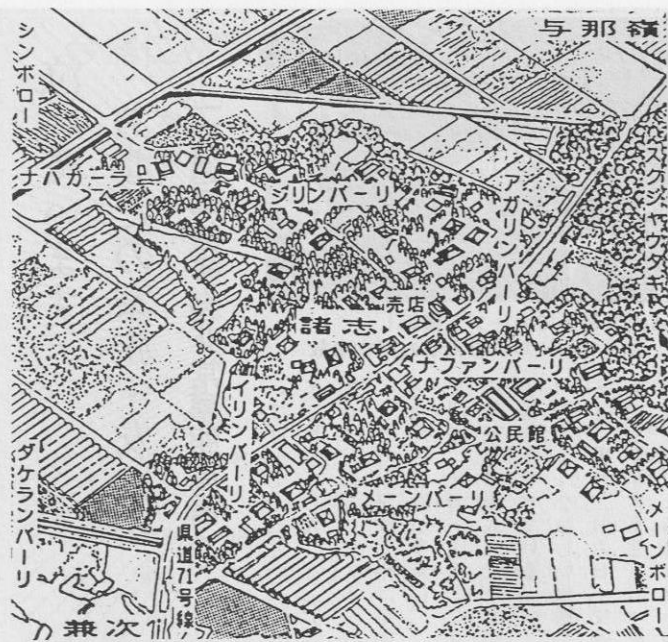
字は先にみたように、別名部落・区・村落・ムラ・シマなどと呼ばれる。字には家々のある、いわゆる集落がある。その集落地域を更に区分するのがバ



B 集落を区分する呼称と小地名で呼ばれる字。崎山・平敷・謝名・運天。
C 小地名で呼ばれる小さな集落で構成される字。玉城・呉我山・湧川・天底・上運天。
今泊にはバーリで区分される集落のほかに、ウイバル(上原)とナガタキ(長嶽)、古宇利にはパーイで区分されるムラウチ(村内)の集落のほかにウイバル(上原)とシチャバル(下原)がある。また勢理客のムラウチ(村内)はクミで区分されるが、インガは新しい集落である。それらの地域は、屋取(ヤードウイ)集落のためここではAの類型にいられた。渡喜仁については、班以外の呼称がないため、どの類型にも入れなかった。

バーリ・パーイの意味

前で述べたように今帰仁村には、「……バーリ」と「……パーイ」という集落を区分する呼称がある。これは小字につく「……バル」とは別の概念である。小字につく「……バル」(原)は、字(村落・部落・区・シマ・ムラ)を細区分し、さらに一筆ごとに地番がつき宅地や田、畑・山林・原野などの地目がついている。現在の小字は、基本的に明治三六年の土地整理期の小字を踏襲している。



諸志の集落区分と呼称

バーリやパーイは、今では小字のバルとは異なる概念で使われている。バル(原)は、小字を区分する概念で使われ、パーリやパーイは集落を区分する概念で使われている。バーリやパーイの前に、アガリ(東)・イリ(西)・ナカ(ナファ)・(中)・ウイ(上)・シチャ(下)・メー(前)・シリ(後)などをつけて呼んでいる。例えば、兼次と古宇利では次のように区分して呼んでいる。

兼次

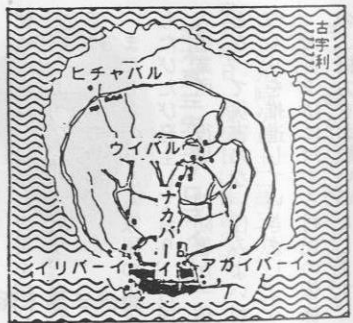
ウインバーリ(上のバーリ)
アガリンバーリ(東のバーリ)

ナハンバーリ(中のバーリ)
イリンバーリ(西のバーリ)
シチャンバーリ(下のバーリ)

古宇利

アガイパーイ(東パーイ)
ナカパーイ(中パーイ)
イリパーイ(西パーイ)

アガリ(東)やイリ(西)やウイ(上)などの下につくパーリやパーイはどのような意味を持つのか定かではない。しかし、バーリやパーイはハラやバルから変化した言葉だと考えられる。ハラ(原)やバルには、耕作地や畑のほかにアガリンバラ(東の方)やイリンバラ(西



の方)、あるいはナカバル(中の方)のように「……方」や「……側」の意味のハラやバルがある。ハラやバルの変化したのがパーリやパーイとみられる。実際に運天のムラウチ(村内)のバーリ区分は、「……方」や「……側」の意味で使われている。

クミ(組・与)について

「……クミ」のクミは、近世の組(与)組織を踏襲している。クミは集落を区分する呼び方ではないが、内容はバーリやパーイと同じなのか、集落の実態を知る上で重要なことである。クミ分けは、製糖屋(サーターヤ)・家の建築・葬式・竈(ガン)の利用・組合墓・租税支払いの共同責任・模合・綱引・運動会など場合になされた。クミはバーリやパーイとは異なり、相互扶助や連帯責任など人的関わりの強い組織である。



仲宗根の集落と古宇利島

玉城

カンスイグミ(寒水組)
タモシグミ(玉城組)
キシムトウグミ(岸本組)
ウイバルグミ(上原組)
マツチャクグミ(マツチャク組)

勢理客

ウイグミ(上組)
ナカグミ(中組)
シチャグミ(下組)

クミ(組)は現在の班に結びつくもので、昭和十五年に内務省から「部落会、町内会等ノ整備」という訓令が公布され、下部組織の整備が行われた。同十七年には約一万二千の隣保班が組織された。その条項に、隣保班を組織するにあたっては五人組や十人組などの組織を尊重するようにとある。近世のクミ組織が戦時中の隣保班へ、さらに

戦後の班へとつながっていく。崎山では、戦後組をそのまま班と改称した。

おわりに

集落区分の呼称をもたず、小地名で呼ばれる集落のいくつかで形成される字がある。その典型的なのが呉我山と湧川で、散村的景観をなしている。呉我山はシイナやニシアザナ・アカギマタ・ヒナマタ・スルミチの小地名で呼ばれる集落からなる。小地名で呼ばれる集落をもつ字は、今帰仁村では寄留人の比率の高い屋取(ヤードウイ)集落でもある。

今帰仁村では、集落を区分する呼称はバーリ・パーイ、それにクミであった。山原には二十余りの呼称がある。主なものをあげるとパール・バハリ・フアーリ・ムテイ、恩納村以南にはダカリが分布する。

集落を区分する呼称を手掛かりに、その分布をみ、さらに字(村落)を類型化してみた。バーリやパーイなどで集落を区分した理由は何かであったのか、ア(夫)であったのか、あるいは祭祀の分担に関わることであったのか、さらに調査を進めその実態に迫ってみたい。

村文化財保存調査委員会
委員 仲原 弘 哲

泣いています

あなたの家族・友人が

交通事故多発非常事態宣言



▲速度超過でカーブで横転し
カードレールに激突した死亡事故

泣いては、七十七件、八十人で前年に比べて二人(二・六%)の増加止まりになっている。
ところが平成元年は年始から交通事故が多発し、二月五日現在、死者十四人となり、昨年同期比で六人(七十五%)の大幅増となっている。

このような厳しい事態を踏まえて、県は二月六日「交通死亡事故多発非常事態宣言」を発表。各警察署では指導取締りを強化しているものの二月十日現在で十七件、十七人が死亡し、昨年同期に比較して九人(百一三%)の増加で極めて憂慮される状態が続いている。

今年の交通死亡事故の原因として飲酒運転によるものが五十三%を占めており、飲むなら乗るな乗るなら飲むなを徹底させてほしいと警察では呼びかけるとともに指導取締りを強化して交通事故抑止を図っている。村民一人ひとりが注意をし、交通モラルの向上を図って、安全で明るい村づくりを進めていきたいものです。

『その火その時すぐ始末』

火災からいのちを守ろう



二月二十八日から三月十三日までの二週間は「春の全国火災予防運動期間」です。
今の時期は製糖期に入り、畑の火入れなど野外において火を使用することが多く原野火災の原因となっています。野外での火の使用にはくれぐれも注意が必要です。特に乾燥注意報、火災警報発令中に、野外で火を使うことは、自から火災を招いているようなものであり、やめてほしいものです。

また、このところ家屋の火災もたびたび発生しており、村民各事業所、役場、消防署が一体となって災害のない住みよい村づくりを推進していきましょう。火災予防に対する村民の皆様のご協力をお願いいたします。



火災の主な原因とその予防方法

- 1位 たばこ
- 寝たばこ、たばこの投げ捨てはしない。
 - 灰皿に水を入れておく。
 - マッチの燃えさしにも気をつける。
 - たばこは必ず灰皿のある場所で吸う。
 - 灰皿の吸がらは専用の容器で回収する。
- ※ たばこの火は約800度です。直接くず入れに投げすてた場合18分程度で炎上しますので、水をかけて確実に処理しましょう。

- 2位 コンロ
- 天ぶらを揚げているときはその場を離れない。
 - 電話や来客などでその場を離れたときは必ず火を消す。
 - コンロのまわりは、きちんと整理する。
- ★天ぶら油による火災の消火方法
- 絶対にあわてず、素早くふたをするか、ぬれたタオルやシーツで覆う。
 - 消火器を使用する場合は、油が飛び散らないようにする。
 - 決して水を使って消火しない。

- 3位 火遊び
- マッチやライターは、子供の目のつかない場所へ保管する。
 - 子供に火の正しい取扱いや怖ろしさを教える。
 - 花火は必ず大人が付添い、水バケツ等を準備する。
 - 子供だけを残して外出しない。
- ※よその子供でも、火遊びをしている現場をみたら注意し、火災の怖ろしさを教えてあげましょう。

今帰仁村職員採用候補者試験募集公告

- 〔1〕 職 種 一般事務職・保母・幼稚園職
- 〔2〕 受験資格
- 1 高校卒業以上の者で平成元年3月までに卒業見込みの者、又は同等以上の学力を有する者
但し、保母、幼稚園職については免許所持者、あるいは平成元年3月までに取得見込みの者
 - 2 年 齢 平成元年4月1日現在 28才以下の者
- 〔3〕 提出書類
- 1 採用試験申込書 1 通
 - 2 自筆履歴書(横書き真貼付のこと) 1 通
 - 3 免許証の写し(保母、幼稚園職のみ)
- 〔4〕 試験期日、場所
- 1 期 日:平成元年3月19日(日)午前9時
 - 2 場 所:今帰仁村コミュニティセンター(ホール)
- 〔5〕 応募受付及び締め切り期間
平成元年3月6日(月)~15日(水)の午前9時~午後4時
但し土曜日の午後、日曜日は休みです。
- 〔6〕 試験科目
- 1 一般職 一般教養(2科目) 作文 面接
 - 2 保母、幼稚園職 一般教養(2科目) 実技 面接
- 〔7〕 結果通知
試験結果調書の報告を受けて、職員採用候補者名簿に登載後本人に通知する。
- ※詳しくは、村役場総務課総務係(TEL56-2101・2102)までお問い合わせ下さい。

歯科医師二人が診療に当たる

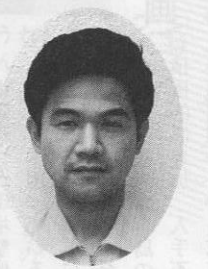
村立今帰仁歯科診療所

これまで村民の歯の健康を守ってくださった劉次興先生の後任として、村立今帰仁診療所に新しく済木嘉三先生(六十九歳)と宮城正照先生(二十六歳)のお二人が着任し、村民の歯の検診治療にあたっています。
両先生とも「今帰仁は自然が豊かで人情深い人が多く、住みよい」



済木嘉三先生

午後二時から七時三十分まで
土曜日が
午前九時から十二時三十分まで
※日曜日、祝祭日は休診です。
済木嘉三先生プロフィール
昭和十七年九州歯科医学専門学校を卒業



宮城正照先生

宮城県雄勝町立国保病院、山形県大石町吾妻病院などに勤務。沖縄県具志川村仲泊歯科医院を開院。
● 現住所―字謝名一三九(医師宅)にユリ子夫人、長女、養母の四人住い。
● 宮城正照先生プロフィール
県立那覇高校から国費生として新潟大学歯学部に進み、昭和六十三年同大学卒業。
● 東京寿谷歯科医院に勤務後今帰仁診療所勤務となる。
● 住所―字今泊二八〇(光武病院職員寮)
● 趣味、スポーツ―音楽鑑賞、野球、卓球

ご 寄 附

ご芳志大変
ありがとうございました

社会福祉に役立ててほしいと村社会福祉協議会に次の方々から寄附がありました。
◎ 島袋ミチさん(謝名十二)から母松本マズさんの香典返しとして五万円。
◎ 島袋マツさん(仲宗根三五四)から夫徳信さんの香典返しとして五万円。
◎ 島袋剛さん(仲宗根二六二)から父辰巳さんの香典返しとして十万円。
◎ 武知晋さん(徳島県板野郡藍住町徳命字前須一・二八・元白石部隊)から戦時中村民にお世話になったお礼として昨年徳島市で開催された白石部隊の慰霊祭の余剰金十万円。
また、子弟の教育に役立てて下さいと村育英会にも次の方々からご芳志が寄せられました。
◎ 大阪で高良亜鉛工業所を営まれている高良武裕さん(堺市菱木七一五・字謝名出身)から五十万円。高良さんは昭和五十八年以來、毎年のように高額の寄附を続けておられます。
◎ 島袋常子さん(字仲宗根二六二)から夫辰巳さんの香典返しとして五万円。

字合併十五周年を祝う

六氏に感謝状贈る

字今泊と字親泊が合併し、今泊となった十五周年を記念する式典と祝賀会が一月二十九日今泊公民館で盛大に催され、字内外から四百人余が出席した。

式典では、実行委員長の新城元一村議員や稲福健一区長らが合併を評価、区の振興発展についてあいさつ、関係者を讃え、区民の協力に感謝のことばを述べた。



▲盛大に行われた合併15周年祝賀会
◀赤瓦屋根のバス待合所

また上間博安村長も合併当時の労を讃え「今泊の限りない発展を祈念申し上げます」と祝辞をおくった。

式典にひきつづき祝賀会が行われ、ときわぎ座(座長・牧志康忠)の盛りたくさんの余興を鑑賞しながら酒を酌み交わし、今泊の前途を祝福した。



学芸会で上原氏に感謝状

村立古宇利小中学校



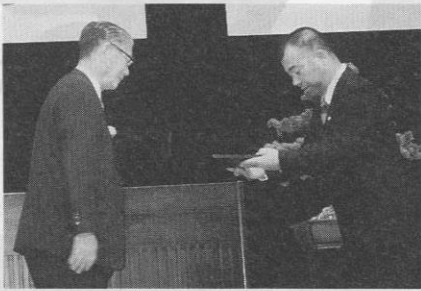
玉城 明校長 照屋林勇PTA会長、上原吉二社長

どもたちを激励した。また、幕合を利用して名護市にある上原興業の上原吉二社長(旧羽地川上出身)に学校から感謝状が贈られた。感謝状は上原氏が学校の環境整備用の土(ダンプ四十台分)と百周年記念事業に対し三十五万円を贈ったことによるもの。同氏のご好意は児童生徒をはじめ関係者を大変喜ばせている。上原さんが古宇利校と関わりをもったのは、かつて同校に勤務していた大城清治先生(現在名護中勤務)が環境整備用の土がなく困っていることを上原氏が聞き、師弟愛によって心よく学校に土を贈ったこと始まり、現在では、島の行事にも積極的に参加、人手不足でキビ収穫に困っている家庭に毎日人夫二人を一ヶ月の間派遣するなど島との関わりも大きい。上原さんどうもありがとうございました。

嘉陽さん・小浜さん表彰

自らの活動が認められる

第三十一回九州地区体育指導委員研究大会が二月三日から五日の三日間にわたって鹿児島県鹿児島市民文化ホールで行われた。本村からは、体育指導委員の嘉陽宗敬さん、大城学さん、伊



▲九州地区体育指導委員協議会から表彰を受けた嘉陽宗敬さん

良波悦子さんと社会教育課職員三人を含めた六人が参加。記念講演、実践発表、特別講演、シンポジウム、実技研修を通して交流を深めるとともに地域におけるスポーツ・レクリエーション



▲県教育委員会から表彰を受けた小浜孝子さん

活動の推進方法や技術を学んだ。開会式で、それぞれの地域で活躍している体育指導委員五十七名が九州地区体育指導委員協議会から表彰された。本村の嘉陽宗敬さん(四十歳・湧川一七七一)もその一人。嘉陽さんは、昭和五十一年に体育指導委員になって以来、村民の健康、体力増進のためスポーツ、レクリエーションの普及・振興に尽力。特に青少年のスポーツ活動に関心をもち、少年野球、ミニバスケットボールを指導。青少年の健全育成に果たした役割が認められての表彰。



▲賞状を手うれしそうな山田貴彦くん

山田貴彦くんが優秀賞

予選で最優秀賞に選ばれ、全国コンクールに応募していたもの。同作品は担任の大城佐恵子先生の指導で学校の授業の一環として描かれたもので、校長先生は「虫歯のないきれいな歯を願うにはクロロゾアアップされているのが審査員に受けたようだ。山田くんは、はきはきしてとても素直ないい子です」と笑を浮かべて同君を讃えた。

区長さんがかわる(諸志・与那嶺・運天)

一月一日付で村内の三つの字(諸志・与那嶺・運天)で区長さんがかわりました。字諸志では、金城康伸さんから与那嶺庄市さん(住所・諸志六〇・電話五六一四〇四七)に、字与那嶺では、玉城俊雄さんから与那嶺富夫さん(住所・与那嶺一七一・電話五六一三二六四)に、字運



諸志区長 与那嶺庄市さん

天では、上間守さんから渡久山祐弘さん(住所・運天七七四・電話五六二二八二〇)にそれぞれ



与那嶺区長 与那嶺富夫さん

れかわりました。前任の区長の皆さん大変ご苦勞さまでした。今後とも字行政



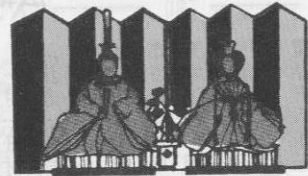
運天区長 渡久山祐弘さん

村行政に対するご協力よろしくお願ひします。新しい区長に対し、村民の皆さまからの積極的なご協力をおよせ下さい。

同校は一字一校のミニ併置校(小学生七十九人・中学生四十二人)で、PTA、児童生徒のまとまりのよい校風をもつていて学業成績もよい。



弥生



●村民カレンダー

1989年

3/1 水	○青少年移動教室 (コミセン18:00) ○心配ごと相談 (コミセン13:00~17:00) ○歯科検診 (コミセン13:00)
2 木	○ことばの教室 (コミセン9:00~12:00)
3 金	○ことばの教室 (コミセン9:00~12:00)
4 土	○おもちゃ図書館 (コミセン9:00~12:00) ○健康相談 (保健婦室9:00~11:00)
5 日	
6 月	○ことばの教室 (コミセン9:00~12:00)
7 火	○ことばの教室 (コミセン9:00~12:00) ○手話サークル (コミセン19:30~21:00)
8 水	○心配ごと相談 (コミセン13:00~17:00) ○リハビリ (コミセン13:00~15:00) ○歯科検診 (コミセン13:00)
9 木	○ことばの教室 (コミセン9:00~12:00)
10 金	○ことばの教室 (コミセン9:00~12:00) ○人権相談 (コミセン10:00~15:00)
11 土	○おもちゃ図書館 (コミセン9:00~12:00) ○健康相談 (保健婦室9:00~11:00)
12 日	
13 月	○ことばの教室 (コミセン9:00~12:00)
14 火	○ことばの教室 (コミセン9:00~12:00) ○手話サークル (コミセン19:30~21:00)
15 水	○心配ごと相談 (コミセン13:00~17:00) ○母子保健推進員定例会 (コミセン13:00)
16 木	○ことばの教室 (コミセン9:00~12:00) ○DPT予防接種 (コミセン13:00~14:00)

17 金	○ことばの教室 (コミセン9:00~12:00) ○乳児健診 (コミセン13:00~14:00)
18 土	○おもちゃ図書館 (コミセン9:00~12:00) ○健康相談 (保健婦室9:00~11:00)
19 日	○職員採用試験 (コミセン9:00)
20 月	○ことばの教室 (コミセン9:00~12:00)
21 火	○春分の日
22 水	○心配ごと相談 (コミセン13:00~17:00) ○リハビリ (コミセン13:00~15:00)
23 木	○ことばの教室 (コミセン9:00~12:00)
24 金	○ことばの教室 (コミセン9:00~12:00) ○離乳食実習 (中央公民館13:00)
25 土	○おもちゃ図書館 (コミセン9:00~12:00) ○健康相談 (保健婦室9:00~11:00)
26 日	
27 月	○ことばの教室 (コミセン9:00~12:00)
28 火	○ことばの教室 (コミセン9:00~12:00) ○手話サークル (コミセン19:30~21:00)
29 水	○心配ごと相談 (コミセン13:00~17:00)
30 木	○ことばの教室 (コミセン9:00~12:00)
31 金	○ことばの教室 (コミセン9:00~12:00)
4/1 土	○おもちゃ図書館 (コミセン9:00~12:00) ○健康相談 (保健婦室9:00~11:00)

役場の電話番号

教育委員会	2645	総務課	2101
社協	2647	住民課	2102
コミセン	4742	税務課	2105
厚生課	4397	出納課	2255
議水道課	4398	企画財政課	2256
		建設課	
		経済課	
		農業委員会	

■ 今年は桜も暖冬の影響であろ
うか、例年より早い開花で皆ん
なを楽しませ散り、木々の芽は
すでに春の胎動をはらんでいる
しかし朝夕はまだまだ冷たく、
春色一進一退ながらも春は呼び
かける。これから卒業式や入学式
をはじめ、転勤、転居など春の
行事が目白押し。

■ 二月十日放送のO.T.Vのフラ
イデイナウに上間村長が出演、
村出身の仲里一美アナ(司会)
の質問に答えるかたちで村の将
来像について語った。また、リ
ポーターとして名城すなおさん
がアナウンサーのような流暢な
ことばとやさしい表情で私たち
の今帰仁村を紹介した。

■ 保健婦室だよりは休みます。

編集後記